

好生館だより

KOSEIKAN DAYORI



[メッセージ]
理事長のあいさつ、館長から一言……………p1

[好生館ニュース]
第19回日本救急医学会九州地方会 他……………p2

[診療科の紹介]
放射線科、皮膚科、小児科、
小児がん支援センター、小児外科……………p3

看護部だより……………p4

お薬の豆知識、
知っていますか？検査の話……………p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、
診療支援部門紹介……………p6

開放型病院登録医のご紹介……………p7

地域医療連携センターだより、
相談支援センターだより……………p8

研修医の紹介……………p9

緩和ケア科ボランティア紹介、
歴史コーナー、リレー・フォー・ライフ……………p10

外来医師一覧表……………p11

平成27年度、新規採用の職員
(105名が採用されました)



地方独立行政法人

佐賀県医療センター **好生館**

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

司馬遼太郎から見た佐賀藩、そして好生館

司馬遼太郎の著書「アームストロング砲」の冒頭に次のようなくだりがあります。

「幕末、佐賀藩ほどモダンな藩は無い。軍隊の制度も兵器もほとんど西欧の二流国なみに近代化されていたし、その工業能力も、アジアでもっともすぐれた『国』であったことはたしかである。

佐賀藩の『文明』にくらべれば諸藩など、およびもつかなかった。箱根以東の諸藩が、鉄砲といえばなお火縄銃のことだとおもっていたところに、この藩の銃器工場ではすでに雷管式のゲーベル銃を国産していた。(中略)

『薩人はまだわかりのよい頭をもっている。長州人にいたっては空想空論の舌さき三寸で天下の事が成るとおもっている』と、鍋島閑叟は

鼻でわらっていた。(中略)

この日本唯一の工業主義者は、嘉永二年にすでに日本最初の製鉄所をつくり、洋式銃器を国産しはじめ、さらに領内の三重津で海軍所をもち、安政年間には造船産業をおこし、国産の蒸汽軍艦の製造に乗り出した。」

司馬遼太郎は、幕末の日本を、人を中心に見つめ直し、その人間模様から歴史の流れを分析しています。彼の目には、鍋島閑叟公は特別な人物であつたに違いありません。混乱する思想を鼻におき、佐賀藩は地の利を生かして、明治維新よりも20年前に、単独で文明開化を行っていたことになります。

好生館は、わが国初の西洋医学を導入した病院として、181年前に鍋島閑叟公により創設されました。時代に学び、新しい思想と技術を導入して、県民や国民からその価値を評価される病院になるために、職員と共に、焦らず、一步一步進んでいきたいと思ひます。

館長から一言

館長

樗木 等

最近メディア報道で、多くの業界から謝罪や訂正、責任辞任などが目立ちます。以前は少なかったのか、報道されなかっただけか、隠蔽していたのか、などと考えますが、もはや情報流出に歯止めができないウェブ環境も後押しをしているのでしょう。共通するのは、透明性が重要であり、結果にたいする説明責任が求められています。

医療関連報道は国民の関心ごとで、医療関係者も注目しています。医療は患者を真ん中におき、種々の診療の選択の情報を提供し、説明にもとづき同意した診療行為に責任を負うことになります。医療に嘘や不誠実は対極にあり、慎むべき事です。安心安全な医療のためには医療倫理を習得した医療人の涵養が重要です。一朝一夕にはかないませんが、一生の目標です。

好生館は今後も安心安全な医療提供に努めます。





好生館 外傷センターの現況

外傷センター
整形外科部長 前 隆男

通常の救命センターに搬送され、救命されても、その後の専門治療やリハビリ開始時期の遅れなどで社会復帰に至らない場合が少なからず存在します。

多発外傷の50%、重度四肢外傷の80%が機能障害を残していると予測されています。

好生館外傷センターではチーム医療で外傷治療にあたり機能障害を減少させることを目的に、平成24年4月に全国で3番目、九州で初めて設立されました。

平成26年度の実績は入院295名でその搬入手段の内訳はドクタカー36名、ドクターヘリ36名、救急車等223名となっています。

好生館外傷センターは今後も佐賀県の救急外傷治療を主導してまいります。

第19回日本救急医学会 九州地方会開催報告



救命救急センター
センター長 平原 健司

平成27年5月15日(金)、16日(土)に佐賀市文化会館におきまして、「現場から繋ぐ・未来へ繋ぐ 九州プレホスピタルケア」をテーマに標記学会を開催いたしました。532名のご参加をいただき盛会裡に会を終了することができました。

館内外を問わず、ご支援、ご協力、お見守りいただいたすべての皆様方にこの誌面を借りて厚く御礼申し上げます。本学会は医師・看護師・救急隊が一堂に会するもので、今回、救急隊員の参加者が増えたことを喜ばしく思っております。

この学会を機に、救命救急センター一同、より盛り上げて参ります。

今後ともどうぞ
よろしく願い申
上げます。



地域連携懇話会のご案内



地域医療連携センター長
消化器外科部長
田中 聡也
.....
地域医療連携室
副室長 徳永 尚子

地域連携懇話会を開催させていただきます。

当館からも各診療科医師が参加いたします。

「顔が見える連携」の機会として、多数ご参加いただき、ご意見を拝聴し、また、交流を深めさせていただければと存じます。

ご多忙のところ恐れ入りますが、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

開催日：平成27年9月10日(木) 18:30~20:30

場 所：ホテルニューオータニ佐賀

内 容：第一部《講演》(予定)

好生館の地域連携の現状と

地域包括ケアへの取り組みについて

第二部《意見交換会》

詳細は、あらためてお知らせいたします。

第24回 好生館医学会のご案内



準備委員長
総合内科部長 土居 隆志

本年のテーマは「地域包括ケアシステム」です。地域包括ケアシステムとは、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、医療、介護、生活支援・介護予防、住まいのサービスが一体的に提供される仕組みです。急速に進む高齢化社会の中、要介護者が増加しても、適切な医療が提供できるよう、このシステムについて学び、われわれのできることを考え、実行できればと思います。毎月第3木曜17:30からの月例会を(表)のスケジュールで開催しています。12月の総会では多くの職種の方からの演題発表をお待ちしています。

月日	テーマ	月日	テーマ
2月19日	地域包括ケアの総論	7月16日	リハビリの地域連携
3月19日	地域包括ケアの事例	9月17日	看取りの地域連携
4月16日	糖尿病の地域連携	10月15日	好生館の地域連携
5月21日	がんの地域連携	11月19日	地域包括ケアのICT
6月18日	脳卒中の地域連携	12月12日	総 会

放射線科

最先端の放射線医療!

放射線科
部長

相部 仁



放射線科には、放射線診断専門医4名、放射線治療専門医1名を含めた、総勢9名の医師が所属しており、好生館で行われる画像診断検査、放射線治療、IVR(画像下治療)を、放射線部所属の放射線診療技師、看護師の緊密なチーム医療のもと担当しています。

近年の放射線科領域の進歩は目覚ましく、CT・MRI検査では目的とする部位の立体画像を含めた精細な画像を作成することができ、患者さんの病気の正確な診断や合併症の少ない効果的な放射線治療、画像を確認しながらの低侵襲治療(IVR)に役立てることができるようになっています。

われわれは放射線診療のエキスパートとして、最前線で診療を担当している当館各診療科の医師のみならず、地域医療連携システムを通じて患者さんをご紹介いただく多くの先生方にも、これらの情報や技術をタイムリーかつ的確に供与し、当館を受診されるすべての患者さんに質の高い医療を提供できるよう毎日努力しています。

皮膚科

新たな好生館の皮膚科診療が始まりました。

皮膚科
部長

古場 慎一



平成25～26年度においては、好生館での皮膚科診療は館内のコンサルテーション業務を主体としたものに限定し行ってきました。

平成27年度より、皮膚科専門医1名・皮膚科後期研修医1名の2人体制で外来・入院・手術等の皮膚科診療を3年ぶりに再開することになりました。

皮膚科は、人体最大の臓器である全身を覆っている皮膚(成人ではたたみ1畳分(約1.6㎡)の広さで体重の16%を占めます)をとおして、湿疹・皮膚炎、アレルギー、感染症、腫瘍、自己免疫性疾患など、あらゆる分野の疾患を診察・検査・加療をする科です。

好生館では、通常の皮膚科診療を再開したばかりですので、ある特定の分野に限定することなく、皮膚科全般の診療を高い水準で提供することを目標にしております。

小児科

小児科は新体制になりました

小児科
主任部長

西村 真二



4月より8人体制で診療を行っています。診療内容としてはこれまでと大きく変わることはありませんが、入院診療ならびに感染症を中心とする一般小児外来、専門外来、健診・予防接種を日常業務とし、時間外の小児診療にも力を入れています。

好生館の小児科医は、新生児に対応でき、時間外小児診療を積極的に行う、を実践しています。特に教育面では、若手の先生や研修医が学びやすい雰囲気づくりに努めたいと思います。

小児がん支援
センター

新たに設立されました

小児がん支援センター
小児科 部長

稲田 浩子



近年の医学の進歩で小児がんは治る病気となりました。治った後の長い人生を、子ども達・家族が笑顔で楽しく生活できるように、発症したときから長期にわたってきめ細やかにサポートしていけるように、この度設立されました。小児科、小児外科、放射線科をはじめとした各科、コメディカルスタッフと連携をとりながら、好生館だからできることを実践していきたいと思ひます。

小児外科

2015年4月からの小児外科

小児外科
部長

村守 克己



当科は2015年春よりメンバーが一部変更になりました。

4人体制で3人小児外科専門医です。外科は手術が一番大切ですが術後の管理も重要です。小児においては特に細かな術後管理が必要となります。安全で安心な標準的治療を行います。好生館のメリットを最大限に生かし小児内科医、小児になれた看護スタッフと綿密な連絡を取りあって一日も早い退院を目指します。



「看護の日」 看護を身近に感じよう

好生館では、5月14日に「看護の日」のイベントを開催しました。

エントランスホール1階では、看護場面の写真や、職員から募集した川柳24点を展示しました。

2階では看護師による健康相談、多目的ホールでは食事・薬・リハビリ等の相談コーナーも設けました。薬剤師・管理栄養士・理学療法士・ソーシャルワーカー等、多くの職種が連携を組んで、約110件の相談を受けました。また、キッズコーナーを設け、ナースキャップやナース服を着用しての写真撮影会、可愛いキッズナースの誕生でした。

また、入院患者さんへは、病棟看護師から受け持ちの患者さん全員に「看護の日メッセージカード」をお渡しすることができました。看護をより身近に感じていただけたらと思います。

多くの患者さんやご家族と好生館スタッフが一緒になり、看護を身近に感じる事ができた一日でした。



キッズコーナーでは
撮影会!!

また逢えた
医師の笑顔で
長生きを

当日、外来患者のご家族より





お薬の豆知識

お薬は正しく
服用しましょう



薬剤部 薬剤師 岡 真以子

薬は正しく飲むことで効果を最もよく発揮し、副作用を未然に防ぎます。

最も一般的な用法は「食後」です。食後30分と意識する方もいますが、忘れがちな方は食後すぐに服用することをおすすめします。

「食前」「食直前」の薬は忘れやすいため注意が必要です。「食間」は食事中ではなく食事の約2時間後です。

「就寝前」の薬の中でも、効果が早くでる睡眠薬はふらつきがでて転倒の危険があるため寝る直前に飲みましょう。

薬は自己判断でやめてはいけません。正しい知識を身につけて薬と上手に付き合ってもらいましょう。

気になることがあれば気軽に薬剤師に相談してください。

用法	服用時間	代表的な薬(参考)
起床時	朝起きてすぐ	骨粗鬆症薬
食前	食事の30分位前	漢方薬、制吐剤
食直前	食事のすぐ前	糖尿病薬
食直後	食事のすぐあと	高リン血症治療薬
食後	食事の後30分位までの間	解熱鎮痛剤
食間	食事の約2時間後	吸着剤
就寝前	寝る30分位前	睡眠薬、下剤
頓服	必要に応じて	疼痛時:鎮痛剤
～時間ごと		抗菌薬

知っていますか?

検査の話

糖尿病の合併症予防のための検査
～腎症予防－血圧管理と摂取食塩推算量の関わり～

検査部
主任 臨床検査技師
出 美規子



シメジ??

糖尿病三大合併症

- シ 神経障害
- メ 網膜症
- ジ 腎症

糖尿病教室では「シメジ」を話題にします。何故でしょう?それは糖尿病の三大合併症を覚えるための合言葉なのです。シ:神経障害、メ:網膜症、ジ:腎症を表しています。

腎症の最終治療目標は人工透析の回避です。現在、糖尿病代謝内科では医師・看護師・管理栄養士が三位一体で透析予防の指導を行っています。

検査部では腎症病期を把握するために尿中の微量アルブミンやタンパク質を測定し、同時に摂取食塩推算量を算出します。

腎症の進展予防には血圧管理が必要です。血圧管理には食塩摂取量が重要な情報ですが、聴き取りだけでは把握が難しく、そこで尿中のナトリウムとクレアチンを測定し、身長・体重の値と共に計算式に当てはめると推定ができるのです。

この客観的な数値は、患者さん自身が食生活を見直す具体的な指標になり、管理栄養士の指導に大変役に立っています。

11月に好生館が主催する県民公開講座の
テーマは「糖尿病」です。



感染制御部だより

針刺し予防の日

感染制御部
感染管理認定看護師 三好 恵美子



職業感染制御研究会は、医療従事者や患者さんの針刺し損傷による血液・体液曝露、ウイルス感染の撲滅を目指して、毎年8月30日を「針刺し予防の日」(8=はり 3=さし 0=ゼロ)に制定しています。

医師や看護師、臨床検査技師は、注射針など鋭利な器材の取り扱い頻度が高く針刺しを起こす機会が多い職種ですが、患者さんや清掃員も落ちていたものを針と思

わず刺した事例もあります。

針刺し予防のためには、安全器材の導入や職員・患者への実技を含めた教育などが有効とされています。当館でも、ウイルス感染から患者さんや職員を守るために、安全器材の導入や館内トレーニング、針刺しについての研修会を開催し、「針刺し0」を目標に取り組んでいます。



+ 医療安全管理部だより

医療安全研修への取り組み

医療安全管理部
GRM 森田 洋子



平成26年度医療安全研修会は、第1回「平成25年度ヒヤリハット報告」「輸液ポンプ・シリンジポンプなど医療機器の安全使用について」、第2回「静脈穿刺における神経損傷防止」「糖尿病治療薬の注意点」、第3回「クオリティマネジメント委員会からの報告」「安全な輸血の為

に」、第4回「館内急変時の対応」について、それぞれの部署から講演して頂きました。

当日は1人でも多くのスタッフが受講できるようにライブ中継をおこないました。研修に参加できなかった人を対象に、平成25年度からDVDとe-ラーニングによる追加研修を行っています。

2回以上の受講率は平成25年度が86%、26年度は92%に上昇しています。

今年度も、多くの方が受講できるように研修内容や方法を考えていきたいと思ひます。

診療支援部門紹介

院外処方せん副作用チェックシートの運用について

薬剤部
部長 松永 尚



現在、当館の院外処方せんには検査値・化学療法(レジメン)名を記載させて頂いています。5月11日から院外処方せんのフォーマットを変更し、副作用チェックシートを載せることになりました。これは、ある種の抗がん剤が投薬されている処方せんのみ、副作用の早期発見、コンプライアンス向上を目的として印刷されます。

この処方せんを応需した院外薬局は、患者さんへの服薬指導時に該当する副作用の項目にチェックしてもらいます。それを当館薬剤部に返信してもらい、必要に応じて電子カルテに入力します。これらの事は、主治医との情報の共有化と薬薬連携に役立つものと考えています。

今後も、好生館は院外薬局との連携を強化していく所存です。



MEセンターのチーム体制

MEセンター
臨床工学技士長 成田 安志



当館MEセンターは、契約事務部門の事務員2名を兼務配属しています。現在、全国的にも契約事務を配置したMEセンターは、ほとんどありません。このような組織にしたのは、館内の医療機器一元管理に欠かすことが出来ないからです。

以前の好生館では、医療機器の専門である臨床工学技士に見えない形で、各診療科の医療機器が購入されており、効率的な購入・運用がされているとは言えませんでした。館内全体の医療機器を技士と事務員が共に把握することにより、一元管理と各機器の運用がより効率的になったと思ひます。

さらに臨床業務においては、すべての技士が血液浄化部門・心臓カテーテル部門・手術部門・医療機器管理部門のそれぞれの業務に精通出来る様に頑張っているところです。



内藤光三センター長(兼)とMEセンタースタッフ

開放型病院登録医のご紹介

【おおくま産婦人科

〒849-0921
佐賀市高木瀬西2丁目10-5
TEL 0952-31-6117(代表)

副院長
大隈 良譲



父の後を継いで産婦人科開業を始めて11年が経過いたしました。当院では分娩を中心に産婦人科として地域医療に頑張っております。特に最近では不妊症に力をいれており、体外受精、顕微授精までの高度生殖医療を行っております。最近では少子化問題が盛んに取り上げられており、その問題の中には産婦人科医師の減少も原因であると思えます。

最近では産婦人科を希望される医学生も少なくなり、もはや絶滅危惧種の様な状態です。当院でも分娩数の増加によりかなり厳しい状況での診療が続いております。

好生館の室先生、安永先生に大変お世話になっている状況です。我々が本当に絶滅する前に仲間を増やして少子化にも歯止めがかかる事を祈っています。

【医療法人
ロコメディカル江口病院

〒845-0032
佐賀県小城市三日町町金田1054-2
TEL 0952-73-3083

理事長
江口 尚久



当院は、小城市三日町にある一般42床(10:1)と療養56床の病院です。専門は、消化器、特に肝臓病で、小野尚文院長を中心に専門的治療を、黒木茂高副院長がCOPDや肺癌等の呼吸器治療を行っています。

PT、OT、STによる総合的なりハビリに力を入れ、地域医療連携室の3名のMSWは、病気や障害を抱えた患者・家族の相談支援に励んでいます。

今後とも「地域に根差した病院」を目指し、チーム医療を展開していきますので、どうぞよろしくお願い致します。好生館とは、急患や難渋する患者を快く受け入れてもらい、当院へ逆紹介をいただくという「信頼に裏打ちされた連携関係」を築かせていただいています。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

【医療法人
千葉内科循環器科

〒840-0815
佐賀市天神二丁目3番38号
TEL 0952-22-7531

理事長
千葉 未知夫



久留米大学3内科で20年勤務した後、平成6年より父の病院(現在有床診療所)を継承し、天神二丁目(どんだんだんの森近く)にて循環器を主に診療しております。また平成13年からは人工透析も行っています。開業当初は患者様の紹介等不慣れでありましたが、救急患者の転送や患者急変時に好生館にたびたびお世話になるようになり、以後、幾度も患者様の危機を救っていただきました。またそのことは当院の危機も助けていただいた事でもあります。また最近では透析患者様の合併症や、シャントトラブルでお世話になることも多く、開放型病床への入院も通知を頂くのですが、なかなか訪問出来ず反省しております。今後も患者様の紹介では地域医療連携室のお世話になります。よろしくお願い致します。

【医療法人 中尾医院

〒840-0825
佐賀市中央本町1-22
TEL 0952-23-3213

理事長
中尾 偕主



常日頃、好生館の先生方には検査や高度医療の為の紹介患者さんへの対応等迅速にして頂き、心より感謝しております。

当院は昭和16年開院。皮膚科・泌尿器科・内科の診療を行う一方、最近ではアンチエイジングを目標に美容皮膚や加圧トレーニング、漢方治療にも力を入れています。高齢化社会に対応した介護施設「花みずき」を2年前に開設し、様々な疾患の救急搬送で、公支援病院の先生方には御迷惑をおかけしています。

今年4月からは三砂範幸医師、真崎善二郎医師、渡辺正之医師、中尾偕主、大学から派遣の先生方の診療体制で運用し、地域包括ケアシステムの充実に向け鋭意努力していく所存です。のでよろしくお願い致します。

【医療法人社団敬愛会
佐賀記念病院

〒849-0917
佐賀市高木瀬町大字長瀬1240番地1
TEL 0952-31-7771

院長
吉原 幸治郎



佐賀記念病院は平成15年3月に現在の高木瀬町に移転し、本年で13年目を迎えます。佐賀県医療センター好生館の先生方には日頃より大変お世話になっております。当院は急性期病棟120床、回復期リハ病棟57床の中規模病院で、内科、胃腸科、循環器内科、整形外科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科、歯科、口腔外科、リハビリテーション科などを標榜しております。可能な限り救急患者様の受け入れを行うことを基本的姿勢としており、平成25年度は1年間に1149台の救急車を受け入れました。

当院だけで解決できる疾病は限られていますが、今後も地域医療の一役を担うため精進いたしますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

【医療法人双水会
熊谷整形外科

〒840-0023
佐賀市本庄町袋本庄町大字袋275番地1
TEL 0952-25-3288

理事長
熊谷 洋幸



私は昭和52年から5年間好生館へ勤務し、現地に19床の整形外科有床診療所を開業現在に至っています。整形外科を始め各科の先生にお世話になっており大変感謝いたしております。患者様が年々高齢化し、認知症を始め合併症を多く持った方が増え、一人で入院治療にあたるのに困惑する場合があります。急変した時には当直や救急部の先生等に昼夜なく対応していただき助かっております。ドクターも増えましたが、何よりも若い先生方を始めとして医療への熱意を感じております。

今後も病診連携を密にし、好生館の基本理念の実現にお互い頑張りましょう。今後も患者様をどんどん紹介いたしますので、スタッフの皆様よろしくお願いたします。



地域医療連携センター

地域医療連携室
副室長

徳永 尚子



地域医療連携室(連携室)では、新患の紹介患者さんの事前紹介予約を行っております。時間指定予約については、25の診療科で予約をお受けしております。

患者さんの外来待ち時間の短縮、検査などへのスムーズな誘導が出来ますので時間指定予約をご利用く

ださい。好生館のホームページから、時間指定予約の空き状況が閲覧できます。画面からの予約は出来ませんのでご注意ください。閲覧するには、IDとパスワードが必要です。IDとパスワードは、事前に医療機関へお知らせしていますが、分からない場合は連携室へご連絡ください。

当館への診療情報提供については、FAXの場合は連携室直通のFAX番号(0952-28-1269)へお送りください。当館からの情報提供依頼は、担当医または連携室へご連絡ください。迅速な対応を心がけて参りますので、今後ともよろしく願い致します。

相談支援センターだより

一般相談支援室
副室長

田代 加代子



相談支援センタースタッフ

緩和ケア研修会について

平成27年度 緩和ケア研修会の開催予定

- ① 平成27年 7月 4日(土)・ 7月 5日(日) 好生館
- ② 平成27年 8月22日(土)・ 8月23日(日) 唐津赤十字病院
- ③ 平成27年10月24日(土)・10月25日(日) 佐賀大学医学部附属病院
- ④ 平成28年 1月23日(土)・ 1月24日(日) 嬉野医療センター

是非、ご参加くださいますようお願いいたします。なお、好生館・佐賀大学医学部附属病院では、平成27年度中に二回目の開催の可能性があります。

担当:緩和ケア科 小杉部長、一般相談支援室 原田・田代までお尋ねください。
※連絡先:1250、1251(内線)

平成19年の厚生労働省「がん対策推進基本計画」により「すべてのがん診療に携わる医師が研修により、緩和ケアにおける基本的な知識を習得する。」ことが目標として掲げられました。佐賀大学附属病院、嬉野医療センター、唐津赤十字病院、そして好生館は、佐賀県の「がん診療連携拠点病院」であり、その指定要件として、緩和ケアに関する研修会の定期的な開催が義務づけられています。この「緩和ケア研修会」は、これまで多くの医師が研修を修了しておりますが、各拠点病院では卒後研修2年目から5年目までの全ての医師の受講が必須とされ、さらに今回、平成29年までには「館内のがん診療に携わる医師の90%以上の受講修了」が目標として示されました。

緩和ケア症例 検討会について

がん相談支援センター(支援室)
副室長 田代 加代子

がん相談支援室(センター)では、「緩和ケア症例検討会」と題して、がん患者さんの支援を担う地域の医療機関、在宅医、訪問看護、居宅介護支援事業所等との連携と、その質の担保と向上を目指して、今年度も5月より奇数月に開催していく予定です。院内外が多職種で、がんの疾患についての知識や現状、治療、注意点、

ポイントについてともに学び、より質の高い医療、看護、介護が提供できるよう連携体制を強化し、情報提供の場や、有意義な交流の場にしたと思っています。是非、ご参加くださいますようお願いいたします。



2年次16名

代表して2名にインタビューしました

1年次15名

初期臨床研修医 2年次 黒木 崇子



研修医二年目の黒木崇子と申します。好生館では日々学ぶことの多い研修医生活を送っております。各診療科の先生に有り難い御指導を頂きながら、医師としてのスキルを磨くべく、精一杯頑張っています。

初期臨床研修医 1年次 馬場 俊和



伝統ある好生館で研修ができることを誇りに思います。研修医は目まぐるしく様々な科をローテートしますが、どの科でも「それが一生の仕事であるような心意気」で仕事をさせていただき所存です。



橋本 剛



吉野 文隆



阪野 佳弘



西岡 千佳



永松 恵



竹内 千洋



松田 健作



内川 和也



古賀 統之



池田 宗平



草場 香那



前田 稔弘



七田 茂輝



池田 翔大



八板 信介



カク キョウ
GUO QIANG



牧瀬 智



長谷川 誠



中島 孝輔



古川 寛



福田 純也



野田 真也佳



田縁 洋子



木室 圭司



今村 華倫



飯田 紘太郎



米倉 卓尚



吉里 広



永田 真央



緩和ケア科
ボランティア紹介

緩和ケア病棟
8階西 看護師長 日浦 あつ子

緩和ケア病棟、陶芸教室のボランティアは宮尾正隆さんです。佐賀大学を退官後、自宅で作陶に励んでおられます。昨年より緩和ケア病棟で陶芸教室を始められ、患者さんやそのご家族が作られた焼き物は本格的な出来栄です。

陶芸教室は水曜日午後開かれています。興味のある方は見学においでください。



宮尾正隆さん：佐賀大学名誉教授、地域文化功労者賞、日展会友 など



宮尾さん作「花瓶」

HISTORY
歴史
コーナー

好生館の始まり

—鍋島直正公と古賀穀堂—

副館長 林田 潔



好生館の創始は、1834年の医学館・医学寮創設に遡ることが、歴史資料考証から明らかになっています。その以前より、佐賀藩は、医学、教育に取り組んでいました。

幕末佐賀藩の名君鍋島直正公の教育係であった古賀穀堂は1806年『学政管見』を著します。この中で、「学問無くして名医になるは覚束なき儀なり」また「教育予算は削らずに、逆に3倍に増やすべき」と教育の重要性を訴えました。

1830年、直正公が第10代藩主となると同時に、藩校

「弘道館」の充実を指示し、1834年に藩校に併設して医学館・医学寮が創設されました。これが、現在の好生館のルーツであり、当時最先端の医学校でした。

この時、直正公直筆の好生館の扁額が、医学館に下し置かれ掲げられていたといえます。

好生館の名は中国の書経の一節「好生の徳は民心にあまねし」からとられました。その精神は、好生館設立の理念として、今も脈々と息づいています。



古賀 穀堂 (佐賀県立博物館所蔵)

9/26(土)・27(日) 開催!!
リレー・フォー・ライフ
佐賀2015に参加しよう

がん相談支援センター
がん相談支援係長 大石 美穂



今回は、リレー・フォー・ライフ(RFL)の支援活動をご紹介します。RFLは、がんの新しい治療法や新薬開発研究費助成、がん治療に意欲的な若手医師の育成費用一部助成、治療やがん予防の啓発等にも活かされています。

これはRFLを支援する人々の寄付によって繰り

上げられます。来る9/26(土)・27(日)にどん³の森で開催予定の「リレー・フォー・ライフ2015佐賀」にむけて、多くの方が募金され、患者さん自ら実行委員に名乗りを挙げ、「自分ができる何か」で、RFLの活動に参加されます。

例えば「小児がんと向き合い、ベッドのなかで療養している子どもさんたちの「学びたいという希望」が病院内で叶いますように。」と想いを馳せ、院内での学習の役に立ちたいと声をあげてくださる、がんサバイバーの方もおられます。

皆さま、希望をつなぐ、かたちにできるRFLを実現できるよう、どうかご協力ください。ひとりがみんなのために、みんなが一人のためにできる一歩いっぽが、連続と続いていきますように・・・。

外来医師一覽表

(平成27年7月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	土居隆志/森塚達也 —	土居隆志 森塚達也	森塚達也 土居隆志	土居隆志 森塚達也	森塚達也 土居隆志
	呼吸器内科	新患 再来	岩永健太郎 安部友範	安部友範 加藤剛	加藤剛 岩永健太郎	岩永健太郎 加藤剛	加藤剛 岩永健太郎
		肝胆膵内科	河口康典/中下俊哉	秋山巧	川添聖治/中下俊哉	川添聖治	河口康典/秋山巧
	消化器内科	再来	中山敦史	緒方伸一	伊東陽一郎	緒方伸一	山本甲二
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	山本甲二(午前)	—
	血液内科	新患 再来	久富崇 松石英城	松石英城 権藤久司/久富崇	近藤誠司 松石英城	横尾眞子 近藤誠司/久富崇	横尾眞子 権藤久司
		腎臓内科	力武修一	中村恵	—	力武修一	中村恵
	糖尿内科	吉村達(新患のみ)	吉村達	吉村達(新患のみ)	吉村達	—	
	腫瘍内科	新患/コンサルト (予約・紹介)	嬉野紀夫	小楠真典	嬉野紀夫/小楠真典	嬉野紀夫	嬉野紀夫
		再来	嬉野紀夫	嬉野紀夫/小楠真典	嬉野紀夫	嬉野紀夫	小楠真典
	感染症(予約・紹介)	福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	
	膠原病・リウマチ (14:00~16:00)	—	(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)	—	—	—	多田芳史 小野伸之
	透析	—	中村恵	力武修一	中村恵/力武修一	中村恵	力武修一
	小児科	午前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	—	—	—	—	—
午後 (完全予約制)		アレルギー外来 乳児健診 予防接種	神経外来(第2・4) 予防接種	アレルギー外来 循環器外来 予防接種	1ヵ月健診 アレルギー食物負荷試験	アレルギー外来 心身症外来 内分泌外来(第2・4)	
循環器内科	午前	貞松研二 梅本真太郎	吉田敬規 中村郁子	吉田敬規 尾崎功治	古閑靖章 中城総一	林田 潔 中村郁子/仲野泰啓	
	午前 不整脈外来 (ペースメーカー外来(予約制))	山口尊則	—	—	—	山口尊則(第3金曜日休診)	
精神科	午前(完全予約制) 再診月~金 8:30~12:00 初診月~金 12:00~13:00	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 非常勤医師	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 石井博修	
	午後	各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)					
放射線科	放射線診断 ・IVR	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	
	放射線治療	渡辺哲雄	渡辺哲雄 (午後:徳丸直郎)	渡辺哲雄	渡辺哲雄	渡辺哲雄	
脳神経内科	午前 新患/再来	高島洋	高島洋	森法道	森法道	高島洋	
	午後(14:00~16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置 —	回診 —	検査 —	回診 高島洋	検査・処置 —	
脳血管内科	午前	上床武史	杉森宏	石東光司	上床武史/石東光司	杉森宏	
緩和ケア科	午前(再診)	完全予約制	—	—	—	—	
	午後(新患)	—	小杉寿文 鶴池直邦	—	小杉寿文 鶴池直邦	—	
禁煙外来	午後	完全予約制	—	岩永健太郎 (14:30~16:30)	林田 潔 (13:30~15:30)	寺崎康宏 (14:30~16:30)	
外 科	消化器外科	新患	田中聡也	隅健次	古賀浩木	池田貯	姉川剛
		再来	佐藤清治	姉川剛	池田貯	隅健次	田中聡也
	肝胆膵外科	新患	—	北原賢二	三好篤	古賀浩木 (午前のみ)	北原賢二
		再来	三好篤	—	—	—	—
	乳腺外科	—	—	手術	白羽根健吾/藤野稔	手術	白羽根健吾/藤野稔
	呼吸器外科	新患	—	手術	—	手術	手術
再来		手術	寺崎泰宏 岡本祐介/大庭大治	手術	岡本祐介 寺崎泰宏/大庭大治	手術	
小児外科	—	村守克己/伊崎智子	手術	上杉達	村守克己/福田篤久	手術	
眼 科	午前	手術	手術	手術	手術	手術	
	午後	検査	古賀隆史 保根正	検査	古賀隆史 保根正	古賀隆史 保根正 三福永由起子	
産婦人科	午前	婦人科	安永牧生/野口光代	安永牧生/栗原麻希子	—	安永牧生/光貴子	
	午後	産科	光貴子	室雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	栗原麻希子 栗原麻希子 室雅巳	
		(14:00~16:00)	午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。				
耳鼻いんこう科	午前	手術	宮崎純二 橋見充 大峯崎健輔	手術	宮崎純二 橋見充 大峯崎健輔	宮崎純二 橋見充 大峯崎健輔	
泌尿器科	午前	—	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/平田 侑	手術	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/平田 侑	手術	
歯科口腔科	午前	完全予約制	野口信宏/佐野直人	野口信宏/佐野直人	野口信宏/佐野直人	野口信宏/佐野直人	
	午後	完全予約制	野口信宏/佐野直人	野口信宏/佐野直人	野口信宏/佐野直人	野口信宏/佐野直人	
形成外科	午前	増本和之	—	回診	—	佐竹義泰	
皮膚科	午後	外来手術	手術	フットケア外来	手術	外来手術	
整形外科	午前	整形外科	古場慎一 外来手術(午後)	手術	古場慎一 外来手術(午後)	手術	
	脊椎外科	隆男 塚本伸章 松小当 加藤剛・牛島貴宏	手術	隆男 塚本伸章 松小当 加藤剛・牛島貴宏	佛坂俊輔 —	塚本伸章 松小当 加藤剛・牛島貴宏	
脳神経外科	午前	—	松本健一	井上浩平	坂田修治	—	
	午後 専門外来	予約のみ	坂田修治(水頭症外来)	—	—	—	
心臓血管外科	午前	—	内藤光三 里学	—	内藤光三 里学	—	
	午後	手術	—	手術 午前中のみ 紹介・予約 樗木 等	—	手術	
人ドック	一般	—	林田 潔	井之口香映子	権藤久司	権藤久司	
	脳ドック	—	高島洋	坂田修治	杉森宏	上床武史	
	心臓ドック	—	—	—	—	樗木 等/林田 潔	
看護専門外来	完全予約制	—	江口忍	江口忍	江口忍	江口忍	